

都立学校生徒向け電子リーフレット

# 生成AIを上手に 使いこなそう!

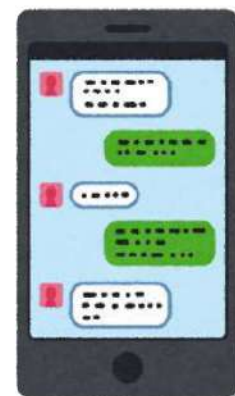
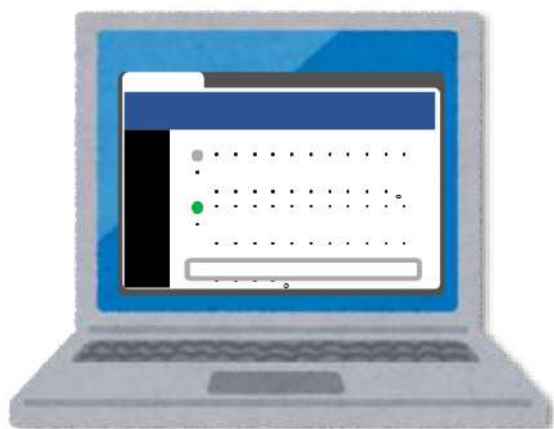
東京都教育委員会



# 生成A Iとは

Chat GPTなどの生成A Iが私たちの日常に浸透しはじめています。生成A Iの特徴を理解して、賢く使いこなしていきましょう。


- ◆ 生成A Iとはコンピュータで動くプログラムです。大量のデータを学習し、利用者が入力する指示文に対し新しい文章等を回答します。**自然に会話しているかのようにやり取り**できることが特徴です。




- ◆ スマートフォン用の無料通話アプリに友だち登録することで使用できる生成A Iもあります。すでに使っている人もいるでしょう。

# 生成AIを見てみよう

生成AIの実際の画面を紹介します。  
利用者が指示文を入力すると、AIが回答します。

 文書生成AIの使い方を高校生に教えて。易しい言葉で200字以内で。

利用者が入力する  
指示文を「プロンプト」という。

 文書生成AIは自分の思いや質問を文章にして入力すると、それに対する文章を作ってくれるツールです。例えば、「エネルギーの種類について教えて」と入力すれば、エネルギーの種類についての説明文章を生成します。作文のアイデアが欲しいときやレポートの参考にするための情報が必要なときなどにも役立ちます。ただし、情報源として使うときは、他の信頼できる情報と照らし合わせることも大切ですよ。

同じ指示をしても、  
回答は毎回変わることが多い。

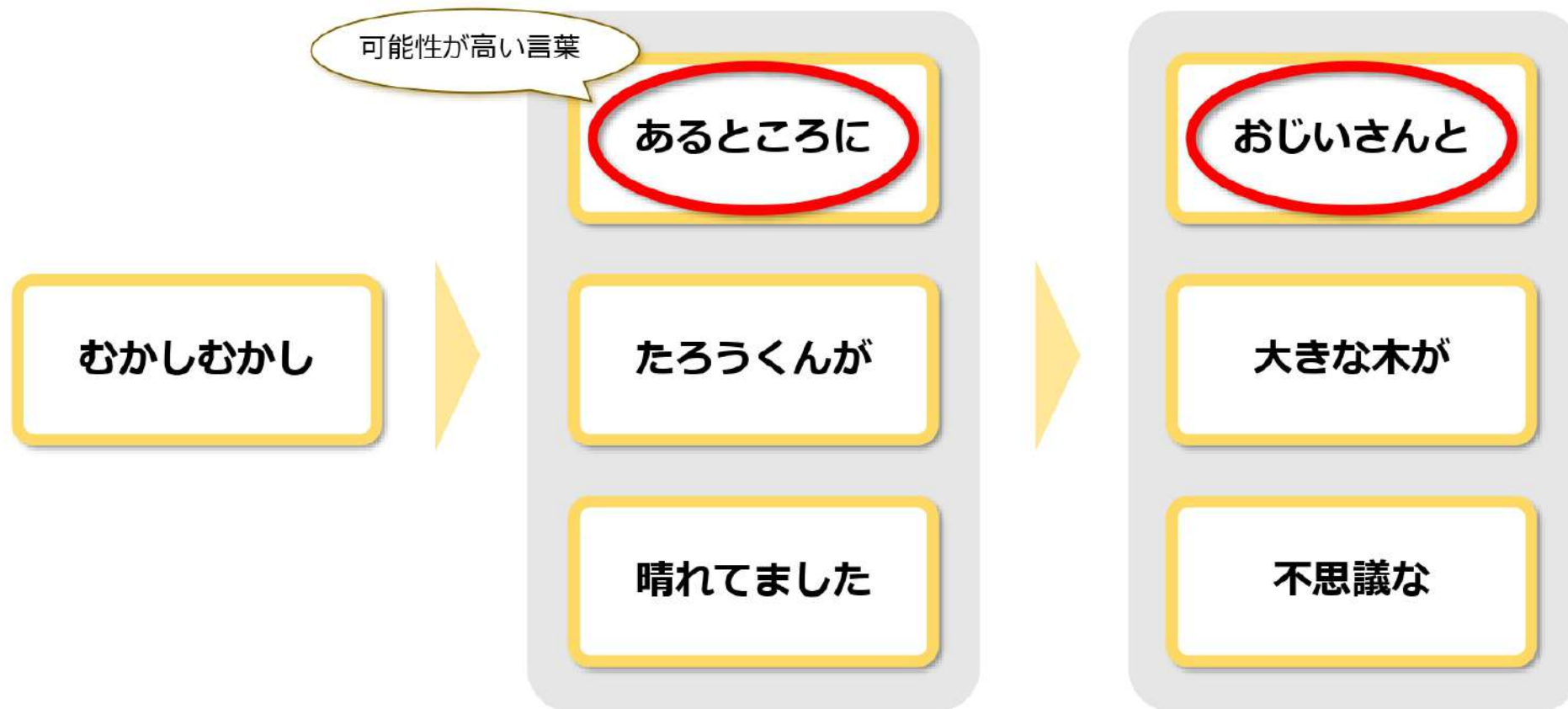
 さっきの回答の中の事例を別の事例に変えて。

回答に対し、  
続けて指示できる。



# 生成 A I の仕組み

生成 A I は、学習データをもとに「もっとも可能性が高い言葉」を選んで回答しています。**間違えることもよくあります。**





# 利用上の留意点

生成A Iは、とても便利なツールです。利用する際は、次の内容に留意しましょう。

1

## 個人情報を守ろう

普段から自分や友だちの個人情報を大切にし、A Iに入力しないようにしましょう。

2

## 真偽を確認しよう

A Iの回答が本当に正しいか、自分で必ず確認しよう。

3

## 自分で考えよう

レポートや小論文等では、A Iの回答をコピーせず自分の文章の材料として考えて使おう。

4

## 困ったら大人に相談

利用していて困ったり、気になったりしたら保護者や先生に相談しよう。

5

## ほどほどに使おう

楽しく会話できたとしても、のめり込みすぎないように。A Iは感情をもたないプログラムです。





## 画像生成AIの利用について (令和5年12月)

画像生成AIとは、「窓辺にたたずむ猫」と入力するとその言葉どおりの画像を出力するAIです。このような先端技術を授業の中で学ぶことは大切です。

しかし、生成された画像を授業外で実際に使用することには注意が必要です。AIが生成する画像には元の画像（学習データ）が存在しますが、その画像を描いた人（著作権者）に対価（お金）が支払われる仕組みは整っていない状況です。

画家・イラストレーター・漫画家などのクリエイターは、作品を創造して多くの人に楽しんでもらい、対価を得ることで次の作品を生み出すことができます。「画像生成AIのおかげで無料でイラストが手に入る！」と考え、実際に行動していると、クリエイターが作品を生み出さなくなり、これまで築いてきた文化が廃れていくかも知れません。

現在は、日々進化する画像生成AIなどの先端技術に、法制度など社会の仕組みが追い付こうとしている段階です。よりよい社会の仕組みについて、皆さんも考えてみませんか。

参考 「生成AIに関するクリエイターや著作権者等の主な御意見（未定稿）」  
令和5年11月20日 文化庁「文化審議会著作権分科会法制度小委員会（第4回）」参考資料2



都立学校生徒向け電子リーフレット「生成A Iを上手に使いこなそう！」

令和5年12月

編集・発行 東京都教育庁総務部教育政策課

編集協力 都立学校生成A I 研究校

